

調査研究等事業報告書 (個人用)

一関市議会議員 勝 浦 伸 行 様



| | |
|------------------|---|
| 報告年月日 | 令和4年5月13日 |
| 実施日(期間) | 令和4年4月22日 |
| 実施場所 (行先等) | 一関市 岩手日報ビル |
| 事業区分 (いずれかに○) | <input checked="" type="checkbox"/> 研 修 調査研究 要望・陳情活動 会 議 |
| 事業内容 | 自治体議会特別 in 一関 <議員の資質向上と議会運営の基本> 講師：自治体議会研究所 代表 高沖秀宜 |
| 報告者 | 一関市議会議員 勝 浦 伸 行 |
| 報告要旨 | 1. 目的・・・・・・・・別紙 2. 概要・・・・・・・・別紙 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙 |
| 主 要 資料名 | 『議員の資質向上と議会運営の基本』セミナーレジュメ |
| | |
| | |
| | |
| | |

別紙

1. 目的

本セミナーは、新人議員研修としての位置づけであるが、その内容が「議員の資質向上」、「議会運営の基本」であり、今後の議会改革の指針となる。

2. 概要

別紙 チラシ添付

3. 参考とすべき事項・所感

講師は、昨年度盛岡で議会改革について講演をおこなった、三重県地方自治研究センター上席研究員の高沖秀宣氏であり、平成31年に北上市で「地方議会から地域を変え、地域から日本を変える」として、北川正恭（早稲田大学名誉教授）氏の講演を拝聴したが、同時期に三重県において、議会事務局と首長（知事）と共に、日本の政治を地方から変える必要があることを訴えている。

その講演内容は、新人議員研修ということもあり、非常に丁寧でわかりやすいものであった。

特にも、

- (1) 議会の役割として、議案の議決、執行機関の事務執行に対する監視は、基本的に行っているが、議案や施策について、議員間討議等が行われておらず、当市の議会改革の大きな取り組みになると考える。同時にセミナーを受講した奥州市では、議員間討議の政策サイクルを構築し、政策提言をおこなっている事は、非常に興味深い、出来るだけ早い時期に、奥州市に研修に出かける事を進言したい。
- (2) 二元代表制については、一部首長の追認機関となっているという声が聞こえるが、改めて、執行機関の市長と議決機関である議会の役割を再認識することが重要である。特にも、興味深い話として、執行権が有利となるような場面が多々あることが示されました。現実問題として、補正予算作成時などでは、個々の議案に賛否が分かれる場合も見受けられる。議会としての真摯な改革議論が必要である。
- (3) 議会改革において、議員定数と報酬、政務活動費についての議論もあるが、直近の選挙を見ても、奥州市、北上市で無競争、一関市では選挙戦とはなったが、議員の成り手不足は非常に深刻である。地方議会の活性化につながるような積極的な議論が必要である。

今回のセミナーにおいて、講師の高沖氏の講演を聞きながら、一昨年北川先生が話されていた「チーム議会」という言葉を思い出した。議員個々の優れた能力を生かすためには、有能な議会事務局職員と共に「チーム議会」を前面に、さらに前に進むこと必要であり、直ちに取り組むべきことと思う。